

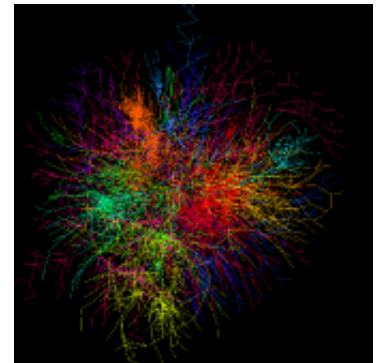
第40回 GSDM プラットフォームセミナー

2015年1月21日(水) 17:00～

「イノベーションに関する横断的な分析手法の研究と普及」

- ◆ 日時 2015年1月21日(水) 17:00～20:45
- ◆ 会場 東京大学工学部3号館2階32号講義室
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_04_j.html
- ◆ 持ち物 ハンズオンを行うため、PCを持参のこと

- ◆ 概要 「イノベーションに関する横断的な分析手法の研究と普及」
本イニシアティブは、イノベーションによる課題解決に向けた研究支援として重要なテーマとして認識されている学術知識の構造化手法、課題と技術知識の関連性の特定手法、萌芽的重要論文の特定手法等のイノベーション分析技法に関する研究である。本ワークショップはその成果および活用の実適用に係るフィードバックを得て、手法の高度化につなげるために行うものである。



◆ プログラム

- 17:00-17:30 書誌情報学を用いた研究概要 (担当: 森 特任講師)
- 17:30-18:00 学術論文データベース Thomson Web of Science 紹介 (担当: 岩見 研究員)
- 18:00-18:30 特許データベース Thomson Innovation 紹介 (担当: 佐々木 研究員)
- 18:30-18:45 (休憩)
- 18:45-20:15 学術俯瞰システム概要ハンズオン (担当: 岩見 研究員、榊 研究員、佐々木 研究員)
- 20:15-20:45 ネットワーク分析、機械学習概要、関連ツール紹介 (担当: 榊 研究員)

◆ イノベーション政策研究センター、ならびに、学術俯瞰システムの紹介

イノベーション政策研究センターは、平成20年3月に工学系研究科総合研究機構内に設置された組織であり、知識の爆発、イノベーションのオープン化、加速化、それによる社会課題解決への期待の高まり等といった新たな環境下において、イノベーションを戦略的、効果的に進めるための技術経営企画、科学技術政策の立案や意思決定に貢献する技法群やシステムを開拓し、その成果を社会に迅速に移転することを目指した研究拠点である。

「学術俯瞰システム」は、論文や特許といった大規模な書誌情報を、テキストマイニングとネットワーク分析により自動分析し、学術分野の俯瞰を可能にするシステムである。

- ◆ 主催 東京大学大学院 工学系研究科 総合研究機構 イノベーション政策研究センター センター長 坂田 一郎
東京大学博士課程教育リーディングプログラム「社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム」(GSDM)
- ◆ 申込 【1/21 GSDM プラットフォームセミナー参加希望】として、e-mailにてお名前・ご所属・役職名を info@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp までお知らせ下さい。

